

2010年度推薦入学選考（11月18日実施）

# 国語分野問題

〈国1〉ページ～〈国10〉ページ

I 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

村上の帝みかどはた申すべきならず。「なつかしうなまめきたる方は、延喜注1にはまさりまうさせたまへり」とこそ、人申すめりしか。「我をば人はいかと言ふ」など、人に問はせたまひけるに、「ゆるになむおはしますと、世には申す」と奏しければ、「さては誉むるなんなり。王(a)のきびしうなりなば、世のいかが堪へむ」とこそ仰せられけれ。

いとをかしうあはれにはべりしことは、この天曆の御時に、清涼殿の御前の梅の木の枯れたりしかば、求めさせたまひしに、なにがしぬしの藏人にていますがりし時、うけたまはりて、「若き者どもはえ見知らじ。きむぢ(2)求めよ」とのたまひしかば、「一京ひときやうまかり歩きしかども、はべらざりしに、西京にしやまのそこそなる家に、色濃く咲きたる木の、様体(b)うつくしきがはべりしを、掘り取りしかば、家あるじの、「木にこれ結ゆひつけて持てまぬれ」と言はせたまひしかば、あるやうこそはとて、持てまありてさぶらひしを、「なにぞ」とて御覽じければ、女の手にて書きてはべりける。

勅ちゆうなればいともかしこしうぐひすの宿はと問はばいかが答へむ

とありけるに、あやししく思し召して、「何者の家ぞ」とたづねさせたまひければ、貫之のぬしの御女みよめの住む所なりけり。「遺恨いこんのわざをもしたりけるかな」とて、あまえおはしましける。重木、今生こんじやうの辱号はぢがうは、これやはべりけむ。さるは、「思ふやうなる木持てまありたり」とて、衣きぬかづけられたりしも、辛からくなりなきとて、こまやかに笑ふ。

(出典 『大鏡』)

注1 延喜Ⅱ村上帝の父である醍醐帝

注2 辱号Ⅱ恥辱

問1 線(1)「ゆるになむおはします」の解釈として、最も適當なものを、次の中から選び、番号をマークしなさい。

- ① 明晰でいらつしやる
- ② 寛容でいらつしやる
- ③ 厳格でいらつしやる
- ④ 公平でいらつしやる

ア

問2 線(a)、線(b)の「の」の説明として、最も適當なものを、それぞれ次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

- ① 連体修飾の「の」
- ② 主格の「の」
- ③ 同格の「の」
- ④ 比喩・類似の「の」
- ⑤ 体言の代用の「の」

(b)	(a)
ウ	イ

問3 線(2)「きむぢ」とは本文中の誰を指しているか。次の中から選び、番号をマークしなさい。

- ① 世の人
- ② なにがしぬし
- ③ 家あるじ
- ④ 重木

エ

問4 線(3)「あまえ」の意味として、最も適當なものを、次の中から選び、番号をマークしなさい。

- ① 謝罪して
- ② 好意をいいことにして
- ③ 恥ずかしがつて
- ④ 思いを寄せて

オ

問5 本文の内容に合うものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

- ① 村上帝は、見事な梅を持ち帰った藏人に褒美を与えた
- ② 梅の持ち主は、驚がすみかを失うことを許さなかった
- ③ 藏人は、若い役人たちはよい梅の見分け方を知らないと思った
- ④ 村上帝は、梅が貫之の娘のものと知って藏人を罰した

カ

II 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

社会空間としての構造から言うなら、万国博は産業のオリンピックであり、オリンピックはスポーツの万国博であった。 A、万

国博で世界各国の産業・工芸技術の水準が展示されていたのと同じように、オリンピックでは、こうした各国の運動技術の水準が展示されていく。スポーツという観念がまとう祭儀性のヴェールを剥がして考えるなら、オリンピックとは、何よりもそうしたディスプレイの空間なのである。

オリンピックと万国博の関係に関しては、さらに言及しておくべきことがある。すなわち、一八九六年の第一回アテネ大会に続く三回のオリンピックが、文字通り万国博の「 B 」として開催されていたことである。一九〇〇年のパリ大会は同年のバリ万博と、一九〇四年のセントルイス大会は同年のセントルイス万博と、そして一九〇八年のロンドン大会も同年の仏英博と深く関係していた。そして、

これらいずれにおいても、主役はあくまで博覧会で、オリンピックには脇役的な注意しか払われていない。それどころか、バリ万博の付属会場で開催されたバリ・オリンピックにいたっては、ハンマー投げの選手の投げたハンマーは樹木にぶつかると、入賞者は一〇〇フランを支払わなければメダルを貰えないというように、現在では考えられない情けなさであった。一九〇四年のセントルイス大会では、オリンピック競技場は万博会場の北西端に航空機の展示場と並んで併設されたが、ここではオリンピックだけでなく、万博会場に展示された植民地集落の「住民」たちが出場する運動競技会も催されていた。この競技会はオリンピックの宣伝を目的に企てられたもので、人類学部門やフィリピン村、あるいは「バイク」街に展示されていた「非白人」たちの多くが動員されたという。社会進化論のイデオロギーは、確実にオリンピックのなかにも通底する性格のものであったのである。

オリンピックはその後、第五回ストックホルム大会でようやく万国博から独立し、徐々にその規模を拡大していくのだが、それでも一九二〇年代までは、けっして万国博を凌駕する国際的イベントと言えるものではなかった。(①) オリンピックと万国博とのこうした関係が逆転するのは、やはり一九三六年のベルリン・オリンピックからである。このとき政権の座にあってすでに三年を経過していたナチ総統ヒットラーは、ユダヤ人に対する残忍な迫害や周辺諸国への侵略意図をカムフラージュしつつ、自らの「帝国」を神聖化する恰好の仕掛けとして、オリンピックを徹底的に利用していったのだ。そのために彼が行ったのは、大会のスペクタクル化である。すなわち、まさにこのベルリン・オリンピック大会において、聖火リレーや表彰台、壮大なオリンピック・スタジアムの建設と見事に演出された開

会式など、オリンピックの伝統が発明されていったのである。(2)そして第二次大戦後になると、諸国家が幻想領域で覇権を争う国際的イベントとしては、万国博ではなくオリンピックこそが中心の場になっていく。

こうした転換が起きた要因を、むろん一つに還元することはできない。産業的技能から運動的技能への焦点の移行は、近代のまなざしが、われわれの身体をより直接的に捕捉するようになったことを示すようにも見える。しかし、ここでの観点からいっそう重要なのは、このような重心の移動にとって、二〇世紀の情報メディアの発達が不可欠の前提条件をなしていた点である。事実、一九三六年のベルリン・オリンピックでは、聖火リレーから開会式、競技までが詳細にラジオで中継されていたし、このとき世界ではじめて小規模ながらテレビの中継放送も行われた。そして何よりも、ベルリン大会とメディアとの結合を示していたのが、あのレニ・リーフェンシュタールによる映画『民族の祭典』であった。オリンピックは、これらの **C** 祝祭として、スタジアムに参集した十数万人の観衆をはるかに超える人々に共有されていくことになったのだ。そして、このメディアの複製能力こそが、万国博をはるかに凌駕する現代のスペクタクルに、オリンピックが押し上げられていくことを可能にしたのである。というのも、博覧会がその開催期間を通じ、会場内に数千万人の観客を収容できたのに対し、オリンピックが各競技の直接の観衆として収容できるのはせいぜい十数万人までであった。 **D**、これがメディアを通じて全世界に同時に複製されていくならば、オリンピックは万国博よりもずっとドラマティックな催しとして、強力に人々の意識を動員していきけるようになるのである。

(3)近代オリンピックについて魅力的な研究を進めているマカールン<sup>マカ</sup>は、オリンピックを、ゲーム、儀礼、祭典、スペクタクルという四つのフレームによって多肢的に枠づけられた文化的パフォーマンスとして把握しつつ、近代オリンピックが発展していくにつれ、この四つのフレームのなかでとりわけスペクタクルの次元に優越性が与えられていくのはどうしてなのか、という疑問を發している。この疑問は正当なものだが、これに対するマカールンの解答は、必ずしも明瞭ではない。マカールンは、どちらかというときスペクタクルを超歴史的な類型概念として捉えているが、こうしたスペクタクルの優越には、むしろ近代特有の特徴を見ていくべきであろう。近代社会は、場所的に閉じられた社会を越えて拡がる無限の空間のなかに諸存在を抽出し、流通させてきた。このような拡がりや可能にし、またそれに促されてもいったのが、世界をディスプレイされる記号の秩序として眺めていくまなざしである。(4)こうした社会の機制そのものは、基本的には近代を通じて変わっていない。ところが二〇世紀は、この近代のまなざしの場をメディアに代補させることで、地

球規模のメディア・スペクタクルの時代を出現させていったのである。

いまや必要なのは、万国博であれ、オリンピックであれ、あるいは無数の博覧会や競技会、国家イベントやマス・イベントであれ、一九世紀以降、現在までの文化変容を貫いてきたスペクタクル的な権力の展開を、この権力が作動する場を生き、ときにはこれを變形させてもいった人々との弁証法的な関係のなかで、より緻密に読み取っていくことである。

性として述べたことは、より身近なレベルで考えるなら、明治以来のわが国の小学校における展覧会と運動会の同型性ともつながるものである。そうだとするなら、近代社会の日常性の構造が、とりわけ儀礼とスペクタクルが複雑に絡まりあつた文化的かつ政治的パフォーマンスのなかでどのように変容してきたのかを、地域的レベルから **F** レベルまでを含んだ重層性において明らかにしていくことも、けつして不可能ではなからう。その際、日本社会に焦点を当てるとするなら、当然、近代天皇制をめぐる問題が、ひとつの避けて通ることのできない問題群を構成することになるとも考えられる。いずれにせよ、われわれはまだ出発点に立ったにすぎない。博覧会は、すぐれて社会的に織り上げられたテキストなのであり、このテキストを読み取っていくこととするのは、とりも直さず、われわれがいまお捉えられている〈近代〉という時代の重さをひとつひとつとくほぐしていくための、ひとつの結び目に目を凝らしていくことにはかならないのである。

(出典 吉見俊哉「博覧会の政治学」なお問題作成上、一部省略してある)

注1 「バイク」街Ⅱセントルイス万博で併設された娯楽街

注2 マカロンⅡアメリカの文化人類学者

問1 空欄 **A**、**D**、**E** に入れるのに、最も適当なものを、それぞれ次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

- |          |        |        |        |        |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| <b>A</b> | ① むしろ  | ② ただし  | ③ すなわち | ④ しかし  |
| <b>D</b> | ① つまり  | ② さて   | ③ あるいは | ④ ところが |
| <b>E</b> | ① たとえば | ② なぜなら | ③ だが   | ④ かりに  |

**キ**

**ク**

**ケ**

問2 空欄 B、F に入れるのに、最も適当なものを、それぞれ次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

B ① 支柱 ② 祝祭 ③ 精神 ④ 余興

F ① 国際的 ② 経済的 ③ 社会的 ④ 主体的

問3 空欄 C に入れるのに、最も適当なものを、次の中から選び、番号をマークしなさい。

① 生の実写映像を越えた

② 映画監督が心血をそそぐ

③ メディアに媒介された

④ 現場から同時中継される

問4 本文中、次の一文が省略されている。(①)～(④)のどこに入れるのが最も適当か、番号をマークしなさい。

まさにこの点、つまり映像のおよび電子的なメディアの発達と浸透にこそ、一九世紀と二〇世紀を分けるひとつの決定的なメルクマールがある。

問5 万国博とオリンピックの関係について、本文の内容に合うものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

① 一方は産業的技能、他方は運動的技能を競うものだが、どちらも大量の観客、観衆を引き寄せ、ながく近代のまなざしを拒否してきた点が、きわめて似通っている

② 世界の国々が戦争や経済的侵略のような具体的な手段で競っている状況を、幻想的次元でカムフラージュし表面からは見えにくくしている点で、この両者には同型性がある

③ 万国博の会場で運動競技会が催されたことからわかるように、そもそも両者はその精神において不可分のものとして発展したのであり、それは現在でも受け継がれている

④ オリンピックは運動技術の競技大会であり、万国博とはまったく異なるようだが、何かの水準が展示されるという点で、じつは万国博とおなじ展覧会なのである

シ サ コ

ス

セ

問6 著者はベルリン・オリンピックをどのように理解しているか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

ソ

- ① 万国博とともにオリンピックを国際的なイベントとして位置づけようとしたヒットラーが、さまざまな装置と演出とを使って、見事なスペクタクル化に成功した大会
- ② 詳細にラジオ中継が行われ、スタジアムの観衆をはるかに超える人々にイベントを提供した点において、近代的なメディアの成立過程が明らかになった大会
- ③ ユダヤ人に対する残忍な迫害や周辺諸国への侵略を覆い隠すために、ヒットラーが、幻想領域ではなくむしろ現実世界において「帝国」を神聖化しようと試みた大会
- ④ さまざまな建築物や演出によって、現在に通じるオリンピックらしさがはじめて備わり、国際イベントとしての地位が画期的に向上した大会

問7

本文の内容に合うものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

タ

- ① マカロンは近代オリンピックについて、スペクタクルの次元がしだいに強まっていることを指摘しているが、その議論は、近代から現代への文化変容を十分に踏まえていた
- ② オリンピックのイメージとして欠かせない壮大なスタジアムや開会式、聖火リレーなどは、あらたに伝統を発明した、つまりかつての儀式を近代において甦らせたものである
- ③ かつてのオリンピックはかなり情けない状態であり、選手への配慮が足りないだけでなく、さらには、非白人を差別視する社会進化論の視点さえ含んでいた
- ④ 万国博やオリンピックを通して考えることのできる問題は、そうした世界規模の催しに特有のものであり、もっと日常的な場面においてはまた別に検討を要する事柄が存在する

Ⅲ 次の1～5にあてはまらないものはどれか。それぞれの選択肢の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

1 翻訳文学

① 『巖窟王』

② 『金色夜叉』

③ 『即興詩人』

④ 『八十日間世界一周』

2 仏教説話集

① 『十訓抄』

② 『宝物集』

③ 『沙石集』

④ 『発心集』

3 夏目漱石の前期三部作

① 『門』

② 『それから』

③ 『こころ』

④ 『三四郎』

4 松尾芭蕉の紀行文

① 『猿蓑』

② 『鹿島紀行』

③ 『野ざらし紀行』

④ 『笈の小文』

5 芥川龍之介が『今昔物語集』に取材した作品

① 『鼻』

② 『羅生門』

③ 『河童』

④ 『芋粥』

チ

ツ

テ

ト

ナ

IV 次の空欄    に入れるのに最も適当な語を、それぞれの選択肢の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

1 自  撞着  
 ① 価  
 ② 過  
 ③ 仮  
 ④ 家  
 ⑤ 可

2 自  自得  
 ① 劫  
 ② 合  
 ③ 傲  
 ④ 号  
 ⑤ 業

3 自  達  
 ① 活  
 ② 闊  
 ③ 割  
 ④ 轄  
 ⑤ 喝

4 自由奔   
 ① 方  
 ② 報  
 ③ 鵬  
 ④ 奉  
 ⑤ 放

5 自  己  
 ① 顯  
 ② 圈  
 ③ 研  
 ④ 権  
 ⑤ 賢

## 2010年度推薦入学選考（11月18日実施）

### 〈基礎テスト〉

**英語分野問題**（1ページ～7ページ）

**数学分野問題**（9ページ～15ページ）

**国語分野問題**（〈国1〉ページ～〈国10〉ページ）

※国語分野は反対の面から始まっています。

#### I. 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題は、**英語分野1～7ページ、数学分野9～15ページ、国語分野〈国1〉～〈国10〉ページ**です。どのページも切り離してはいけません。試験時間中に、印刷の不鮮明や落丁・乱丁等に気づいた場合は、手を挙げて知らせてください。
3. 公募制推薦入試〔併願制〕、公募制推薦入試〔専願制〕を受験される方は、英語分野、国語分野、数学分野の3分野のうち2分野を選択して、解答してください。ただし、英語コミュニケーション学科および看護学科は英語分野、日本語日本文学科日本語日本文学コースは国語分野を、必ず選択してください。
4. 特技推薦入試〔書道部門〕、特技推薦入試〔課外活動部門〕、総合学科・専門学科推薦入試を受験される方は、必ず「国語分野」を選択してください。
5. 試験開始までに、監督者の指示にしたがって、解答用紙の所定欄にそれぞれ正しく記入し、マークしてください。
  - ①氏名欄 あなたの氏名・フリガナを記入してください。
  - ②座席番号欄 座席番号を記入し、マークしてください。座席番号の記入のないもの、またはマークのないものは0点となります。
  - ③解答科目欄  
※公募制推薦入試〔併願制〕・〔専願制〕は、英語分野・国語分野・数学分野から必ず2分野を選び、解答科目記入欄にマークしてください。解答科目記入欄に2つ正しくマークしていない場合（無マーク、1つマーク、3つマーク）は0点となります。  
※特技推薦入試〔書道部門〕・〔課外活動部門〕、総合学科・専門学科推薦入試は、国語分野に必ずマークしてください。国語分野以外にマーク、または複数マークした場合は0点となります。
6. 解答は、すべて解答用紙の解答記号に対応する解答欄にマークしてください。
7. 解答用紙には、HBの黒鉛筆（シャープペンシル可）を使用し、はっきりと丁寧に記入してください。ボールペン、万年筆、サインペンなどを使用してはいけません。また、答えを訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。
8. 解答用紙を破ったり、汚したりしないように注意してください。
9. 問題用紙は、試験終了後、持ち帰ってください。

#### II. 解答上の注意

裏表紙に「マークシート方式の解答に関する注意事項」がありますので、この問題用紙を裏返して、あらかじめよく読んでください。ただし、問題用紙を開いてはいけません。